

米原歴史街道

米原市の歴史・文化財を歩く 188

柏原御殿（御茶屋御殿）

柏原宿の徳川将軍宿泊施設

柏原御殿の建立

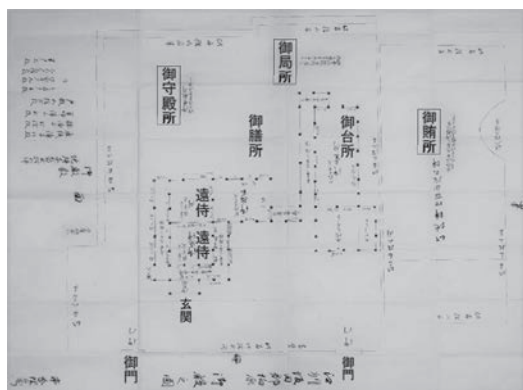
現在、柏原の西にある柏原緑地（都市公園）の辺り一帯を「御茶屋」と呼んでいますが、この地に「柏原御殿」と称した徳川将軍の宿泊施設がありました。今から四百年近く前、江戸時代前期のことです。

徳川家康や二代秀忠は、京都へ上る（上洛）時、柏原の宿舎として在地の西村勘介の屋敷を利用してきましたが、寛永十一年の三代将軍家光上洛の際、将軍専用の御殿を建立することになりました。

御殿の候補地として、街道筋は家並が続いて広い敷地が確保できないため、街道から少し離れた南の方に予定されていたようですが、家康以来の宿泊所である西村家にすのものが吉例であるとの老中の命で、西村家の敷地に御殿を建立することが決定。岡田善同と近藤与兵衛が御殿普請奉行として建立を急ぎました。

柏原御殿の姿

「柏原御殿之図」によると、図の下方を左右（東西）に街道が走り、街道に面して四十二間の「高堀」と二つの「御門」があり、奥行



柏原御殿之図

は三十八間、坪数は一、二二五坪ありました。門を入ると、「玄関」を経て二間からなる「遠侍」や「御膳所」、「御台所」の建物が描かれています。その奥に存在した御殿の中心的な建物である「御守殿所」や「御局所」は、建物の間取りが描かれていません。「御守殿所」は将軍の居るところであり、「御局所」は御殿女中たちが詰めた所です。両者には建物の間取りの代わりに「御上洛翌年御畳ミ」と記されています。

この御殿が建てられた寛永十一年が家光最後の上洛となり、以後、幕末の十四代家茂まで、将軍の上洛そのものがなくなりました。つまり、ここに書かれた上洛は寛永十一年の上洛の事であり、翌年には早くも「御守殿所」と「御局所」は畳まれた（解体された）ということになります。何とももったいないことですが、東海道の水口御殿（甲賀市）も同様で、寛永十一年の家光の上洛に際して建立され、その帰路に一度利用されただけでした。

絵図の右端は、小道を挟んで堀に囲まれた別区画があり、「御膳所」と記されています。この「御膳所」が西村勘助に与えられた屋敷であり、家光の上洛では当屋敷で御用を務めました。こうして、かろうじて残ってきた御殿も、ついに最終解体の日がやってきました。元禄二年三月、御殿の各種器材は入札となり、跡地は西村家に与えられました。

（生涯学習課・柏原宿歴史館）



柏原御殿の玄関を飾った墓股（かえるまた）

消費生活相談コーナー

催眠商法(SF商法)にご注意ください

催眠商法とは、安価を売りにした広告で人を集め、閉め切った会場で次々と商品を配るなど雰囲気を高揚させ、最後に高額な商品を手付けする商法です。



消費生活相談員より一言

安易に会場に行くと、途中で退席できなくなったり、購入を断り切れなくなります。チラシの内容に惑わされず、本当に必要なものかよく考えてから行動しましょう。

「おかしいな」と思ったら、一人で悩まず、まずは消費生活相談窓口へご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)

相談専用 ☎53-5110

(受付) 平日 9時30分～16時

米原警察署情報

米原警察署 ☎52-0110

スマートフォンでできる詐欺対策

お手持ちのスマートフォンにアプリ「詐欺対策 by NTTタウンページ」をインストールしていただくことで、電話発着信時に詐欺電話などの要注意番号を遮断することができます。ご家族皆さんでぜひご利用ください!



インストールはこちら▶



▲iPhone



▲Android



令和8年市内交通事故数(7月末時点)

件数 39件(+12件) 死者 0人(-1人)
傷者 46人(+19人) ※()内は前年比